

天声人語

歯舞群島には、富山から移り住んできた人が多かった。そのつてなのだろう、薬売りがよく来ていたという。医療施設に乏しく、売薬に頼る島の暮らし。薬売りは民家に泊まり、歩いて島中を行商していたと、元島民が語っている▼島の人びとはコンブ漁に生活の糧を求め、畑作にも励んだ。大根、にんじん、ごぼう、キャベツ……。米や調味料を島外から持ち込めば食うに困らなかつた。そんな声が『元島民が語る「われらの北方四島』にある▼国後、択捉、色丹の3島と同じく、歯舞の人びとがソ連から島を追われたのは敗戦直後である。がら島の目と鼻の先にありながら、遠い島となつた。それがもしかしたら……』というニュースである。歯舞と色丹の2島の返還に向けて、安倍晋三首相が動き出したところだ。ロシアのプーチン大統領は、國內で人気にかけりが出ていているとも言われる。領土問題で日本と手を握ることが、支持率に悪影響を与えないか。そんな計算も胸にはあるだろう。一筋縄でいかない交渉であることには変わりはない▼歯舞という名前の由来は、アイヌ語で「流水のある島」だという。富山に限らず日本の各地から、気軽に出かけられる。そんな日は、いつか来るのだろうか。